歩いて楽しいまちづくり　まちなか（中心部）エリアの回遊イメージ

～「車中心」から「公共交通と歩行者中心」の空間への転換～

（素案）

資料　8

米子港整備イメージ

よなご・マルシェ

水辺の空間を活かした賑わいを創出するエリア

下町観光ガイド

加茂川遊覧船

歴史・文化を活かした賑わいを創出するエリア

«　目指す姿　»

歩くこと、だんだんバス、ＪＲ境線などを組み合わせることでエリアの拠点施設である公共・公益施設や商業施設を回遊できるまちなかを目指します。

歩行空間（車両排除）・広場など活用した賑わいを創出するエリア

ナイトタイムレコード

地ビールフェスタ

土曜夜市

米子アリーナ活用イメージ

スポーツ・エンタメイベントにより賑わいを創出するエリア

史跡・自然を活かした賑わいを創出するエリア

オレンジロード観望会

ダイヤモンド大山観望会

よなごバル

ストリートテラス

歩行者と車両が共存し賑わいを創出するエリア

ストリートリーグ

ヨナゴエンタメストリート　ゼロ

ほこみち　活用イメージ

新たな公共空間を活用した賑わいを創出するエリア

米子高専出張文化祭

循環バス
路線バス
ウォーカブル推進路線
拠点

0　500m

【 参考 】

主な取組

1　ウォーカブルを推進する３つのエリア

⑴　米子駅周辺エリア（米子駅南周辺エリア、米子駅前エリア）
　がいなロードの整備を契機としたウォーカブルの推進

歩行者と車両が共存
・よなごバル
・ストリートテラス
・ストリートリーグ　ほか

①　がいなロード、米子駅南広場
　米子駅の南北両地区の回遊性向上、米子駅の交通結節点としての機能強化

②　米子駅目久美町線
　歩道の拡幅、沿道（店舗等）と路上（公共空間）の一体利用

③　目久美公園
　トイレのユニバーサルデザイン化、地域の特徴を生かした再整備

新たな公共空間を活用
・ほこみち
・米子高専出張文化祭
・ヨナゴエンタメストリート　ゼロ　ほか

⑵　角盤町周辺エリア
　地域の人材や民間事業者の活力を生かしたウォーカブルの推進

①　える・もーる１番街
　アーケードリニューアル（ＬＥＤ化）、安心・安全な歩行空間の再整備

②　本通り
　アーケード撤去、下水道整備、路面の再整備

③　角盤町通り
　車道幅の縮小と歩行空間の拡大

④　元町どおり～ほっしょうじ通り
　歩行者優先の空間を生かした沿道（店舗等）と路上（公共空間）の一体利用

歩行空間（車両排除）・広場などを活用
・地ビールフェスタ
・土曜夜市
・ナイトタイムレコード　ほか

⑶　米子港・城下町周辺エリア（米子港周辺エリア、城下町周辺エリア、医大周辺エリア、米子城跡周辺エリア）
　歴史文化の街なみや貴重な親水空間を生かしたウォーカブルの推進

①　米子港広場
　親水性のある広場整備

②　湊山公園
　トイレのユニバーサルデザイン化、彫刻ロードや中海親水護岸をつなぐ園路整備

③　米子城跡
　園路整備、便益施設整備、広場整備

水辺空間を活用
・よなご・マルシェ
・米子港広場（かわまち）　ほか

歴史・文化を活用
・下町観光ガイド
・加茂川遊覧船　ほか

史跡・自然を活用
・ダイヤモンド大山観望会
・オレンジロード観望会　ほか

2　その他のエリア

⑴　東山公園周辺エリア
　全ての人がスポーツに親しむことのできる環境づくりを推進

①　米子新体育館
　米子アリーナの整備（既存３施設を統廃合）

②　周辺環境
　米子駅から東山公園までの歩行者動線整備、東山公園駅の利便性向上

スポーツ・エンタメイベントを活用
・米子アリーナ　ほか

⑵　後藤駅周辺エリア
　交通の利便性、高い人口密度まちなかと郊外をつなぐ補完的拠点づくりを推進

①　周辺環境
　公共交通と周辺の商業施設等を生かした環境整備

⑶　皆生温泉エリア
　民間プレーヤーを核とした実行部隊を組成し、皆生温泉の自律的・継続的なまちづくりを推進

①　周辺環境
　灯りによる温泉情緒の創出、海と温泉街の一体感の醸成